

令和元年度
運営に関する計画

大阪市立田島中学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

昨年度のいじめ認知件数は、32件あり、27件は指導を終え解消している（解消率84%）。また、5件は3か月間の経過観察中である。

昨年度の生徒アンケート「学校のきまりを守っている」項目の肯定的意見は90%であり、昨年度92%より2%減少したものの、90%以上にするという今年度の目標を達成することができた。暴力行為を複数回行う加害生徒は、2人であった。

不登校になった生徒はいない。ルールを守ろうとする意識は継続して高いが、暴力行為を複数回行う加害生徒の数は減らず、課題が残った。また、新たな不登校生徒は生まれなかつたが、いじめや不登校の問題も残っている。継続的に指導・観察することで改善を目指したい。

昨年度の生徒アンケートにおいて、「命や人権の大切さについて考えたことがある」項目の肯定的意見は92%であった。一昨年度の81%より11%増加した。昨年度の生徒アンケートにおいて、「すすんであいさつをしている」項目の肯定的意見は71%であった。昨年度の生徒アンケートにおいて「学校のきまりを守っている」項目の肯定的意見は90%であった。一昨年度92%より2%減少した。昨年度の生徒アンケート「学校へ行くのが楽しい」項目の肯定的意見は84%であった。一昨年度73%より11%増加した。

学習環境が、安全安心へと進んでいる状況である。また、地域の方々や来客者の方々から、「田島中学校の生徒はしっかりあいさつができる」と褒めていただくことが増えた。さらに、生徒の自己肯定感の向上につなげ、学力向上につなげていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

平成29年度および平成30年度のチャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較した結果、2.1点減少した。平成29年度および平成30年度のチャレンジテストにおける得点が、府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較した結果、2.6ポイント増加した。平成29年度および平成30年度のチャレンジテストにおける得点が、府平均の2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較した結果、以下の通り0.2ポイント増加した。得点力としては、昨年度の目標を達成することは難しかつたが、授業改善において習熟度少人数授業や学力補充の取組に重点を置いた結果、昨年度の生徒アンケートにおいて、「授業で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」項目の肯定的意見は62%となり一昨年度35%より27%増加した。今年度も引き続き、学力向上推進モデル授業施策などを活用し、学力向上をめざすことが必要である。また、昨年度の体力運動能力運動調査において、課題であった、立幅跳び2年男女平均は4.66であり、一昨年度の3.71より0.95ポイント向上したが、目標値を達成することができなかつた。運動が苦手な生徒に対して、苦手意識を払拭させるような取り組みを実施して必要がある。昨年度の生徒アンケートにおいて、「家に帰ってからも勉強する時間を毎日とっている」項目の肯定的意見は51%で、一昨年度42%より9%増加したが、家庭学習の在り方について課題である。昨年度の生徒アンケートにおいて「授業で意見や答えを考えたり、発表したりすることが多い」項目の肯定的意見は46%で、

一昨年度32%より14%増加し、授業改善図られており、今年度も継続した取組みを進めていく。生徒アンケートにおいて「授業がよくわかる」項目の肯定的意見は79%であった。一昨年度64%より15%増加し、授業改善が図ることができており、継続して授業改善を取り組んでいく。昨年度の生徒アンケート「健康に気をつけている」項目の肯定的意見は90%で、一昨年度83%より7%増加し、健康に関しての関心は高まっている。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える生徒の割合を、9割以上にする。
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがありますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える生徒の割合を、8割以上にする。
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える生徒の割合を、9割以上にする。
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える生徒の割合を、9割以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度末の生徒アンケートにおける「帰宅後勉強する時間を毎日とっている」と答える生徒の割合を8割以上にする。
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」の項目の肯定的回答率を全国平均レベルに向上させる。
- 平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を男女ともに全国平均値より向上させる。
- 平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「自分の体力に自信がありますか」の項目の男女ともに肯定的回答率を全国平均レベルに向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成31年度末校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成31年度末の校内調査において、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を前年度より減少させる。
- 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 今年度末の生徒アンケートにおける「すすんであいさつをする」と答える生徒の割合を80%以上にする。（前年度71%）
- ② 今年度末の生徒アンケートにおける「生徒会や委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を70%以上にする。（前年度66%）
- ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「あなたは時間を守って生活できていますか」と答える生徒の割合を70%以上にする。
- ④ 今年度末の生徒アンケートにおける「忘れ物をしない」と答える生徒の割合を80%以上にする。（前年度77%）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成31年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成31年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 平成31年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の2割以上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 平成31年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である『長座体前屈』の平均の記録を、前年度より1ポイント向上させる。

学校園の年度目標

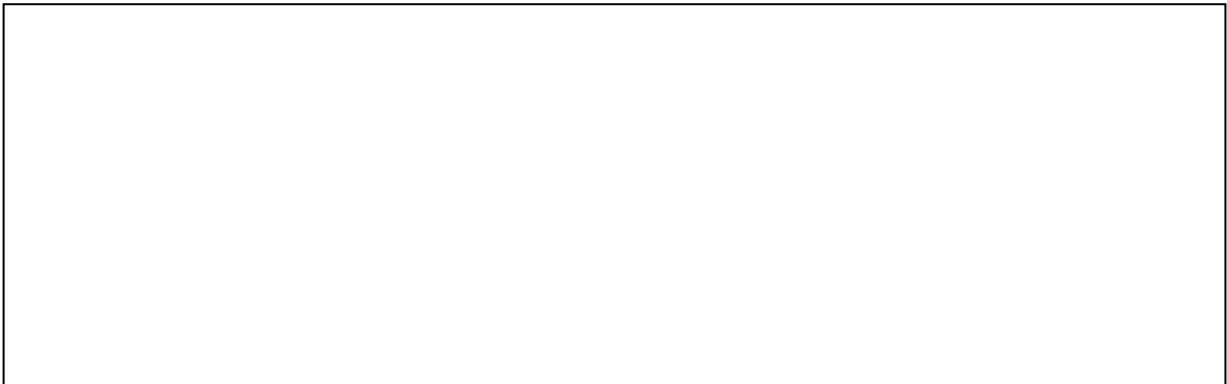
- ① 今年度末の生徒アンケートにおける「授業時間外で勉強する時間を毎日とっている」と答える生徒の割合を60%以上にする。（前年度51%）
- ② 今年度末の生徒アンケートにおける「授業で意見や答えを考えたり、発表したりすることが多いと答える生徒の割合を50%以上にする（前年度46%）
- ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」と答える生徒の割合を80%以上にする。（前年度79%）

【その他】小中一貫した教育の推進

学校園の年度目標

- ① 児童・生徒・教員の連携・交流を図る検討組織を活性化する。
- ② 9年間の小中一貫した教育のカリキュラムの作成を取り組む。

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立田島中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 31 年度末校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ○ 平成 31 年度末の校内調査において、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 ○ 平成 31 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を前年度より減少させる。 ○ 平成 31 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 今年度末の生徒アンケートにおける「すすんであいさつをする」と答える生徒の割合を 80%以上にする。（前年度 71%） ② 今年度末の生徒アンケートにおける「生徒会や委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を 70%以上にする。（前年度 66%） ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「あなたは時間を守って生活できていますか」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 ④ 今年度末の生徒アンケートにおける「忘れ物をしない」と答える生徒の割合を 80%以上にする。（前年度 77%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】健康教育部 防災・減災教育の推進</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害初期対応マニュアル等の見直しを行い、避難訓練を含む防災訓練を年間 2 回以上、区役所や消防署と連携して実施する。 ・年 1 回以上 AED 講習を教職員と生徒に実施する。 	
<p>取組内容②【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】生活指導部 学校生活ルールを基に、基本的な生活習慣の確立と学校の規則を守る生徒の育成を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度末の生徒アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度末の生徒アンケートにおける「あなたは時間を守って生活できていますか」と答える生徒の割合を70%以上にする。 ・がんばりカードや賞状、皆勤賞等の表彰を学期に1回実施し、生徒の成長を見える化し、自己肯定感を向上させる。 	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】教務部 全学年 部活動担当者 教育環境の整備 ホームページを通して、保護者や地域に情報を周知する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割や提出物の周知に努め、今年度末の生徒アンケートにおける「忘れ物をしない」と答える生徒の割合を80%以上にする。(前年度77%)。 ・各学年週に1回は学年の取組や提出物の内容、また各部活動がそれぞれの取組状況や予定を配信する。 ・ホームページのアクセス数を昨年度以上にする。 	
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】特別支援担当 校内のインクルーシブ教育の充実を図るため、支援体制を確立する。</p>	
<p>指標</p> <p>障がいのある生徒一人一人に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、その計画に基づいて効果的な指導や適切な支援を行う。 特別支援サポーターを効果的に活用する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】生活指導部 好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを年間3回、Q-Uテストを実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う。 	
<p>取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】教務部・国語科 読書環境を整え、図書館を活用した学習や読書活動の活性化を図り、元気アップコーディネーター、図書館補助員と連携を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者の割合を前年度より増やす。 ・元気アップ事業との連携した取り組みを行う。 	
<p>取組内容⑦【施策2 道徳心・社会性の育成】全学年 性と生を考える取組みを推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間各学年1回の取組みを実施する。 	
<p>取組内容⑧【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】進路指導委員会 ・将来の夢や目標に基づいて、自分の進路について考えさせるとともに、「進路だより」を通して、入試制度など進路に関わる情報を生徒・保護者に積極的に発信し、理解を得ていく。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりを年間10回発行し、入試制度など進路に関わる情報を生徒・保護者に積極的に発信し、またホームページも活用して情報を配信する。 	
<p>取組内容⑨【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】全学年 ICT機器を活用し、学校ホームページなどを通して、学校の様子や提出物等の情報を配信し、生徒・保護者に理解を得ていく。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を活用し、ホームページなどを通して、学校の様子や提出物等の情報を配信することで、今年度末の生徒アンケートにおける「忘れ物をしない」と答える生徒の割合を 80%以上にする。(前年度 77%) 	
<p>取組内容⑩【施策 2 道徳心・社会性の育成】生活指導部、人権部会 道徳心・社会性の向上を図り、3年間を通じた系統的な道徳の授業に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年度末校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 	
<p>取組内容⑪【施策 2 道徳心・社会性の育成】生活指導部 生徒会や委員会活動を積極的に参加している生徒を増やす。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度末の生徒アンケートにおける「生徒会や委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を 70%以上にする。(前年度 66%) 	
<p>取組内容⑫【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】全学年 好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年であいさつ運動に対する取り組みを推進し、今年度末の生徒アンケートにおける「すすんであいさつをする」と答える生徒の割合を 80%以上にする。(前年度 71%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立田島中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 31 年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、いずれの学年も同一母集団で比較し、前年度より向上させる。 ○ 平成 31 年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。 ○ 平成 31 年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。 ○ 平成 31 年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 ○ 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である『長座体前屈』の平均の記録を、前年度より 1 ポイント向上させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 今年度末の生徒アンケートにおける「授業時間外で勉強する時間を毎日とっている」と答える生徒の割合を 60% 以上にする。（前年度 51%） ② 今年度末の生徒アンケートにおける「授業で意見や答えを考えたり、発表したりすることが多いと答える生徒の割合を 50% 以上にする（前年度 46%） ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。（前年度 79%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策 6 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】全学年 ICT を活用した教育を推進し、生徒が互いに教え合い学び合う協働的な学びや、思考力・判断力・表現力の育成につながる言語活動等を充実させ、授業の質を向上し、「自分で考え判断する力」、「自分の考えを豊かに伝える力」、「ICT 機器を活用する力」を備えた生徒を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>各生徒が月に 4 回は、タブレットを活用した取組みや学習を行うよう取り組む。</p>	

**取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】教務部
朝読書の充実や図書館活用を図り、読書の機会を増やす。**

指標

それぞれの学年で、週1日以上の朝読書を実施する。

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】全教科

全ての学習の基盤となる言語能力等の育成を重視し、主体的・対話的で深い学びの視点から、学習・指導方法の普段の改善を図るための実践研究を行う。その中で、すべての授業において「本時(単元)の目標(めあて)」「本時(単元)のまとめ」をわかりやすく提示する。

指標

- ・生徒アンケートを2回を行い、「授業で、目標(めあて)やまとめが示されていますか」という項目において、肯定的な回答する割合を70%以上にする。

**取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】教務部
全教科**

基礎・基本の定着と充実を図る。基礎学力の定着のため、授業を大切にする意識を持たせ、わかりやすい授業をめざし、家庭学習の習慣もつけさせる

指標

- ・今年度末の生徒アンケートにおける「授業時間外で勉強する時間を毎日持っている」と答える生徒の割合を60%以上にする。(前年度51%)

**取組内容⑤【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】国語科、
数学科、英語科**

ティームティーチングや習熟度別少人数授業を行い、基礎・基本の定着と、発展的内容の指導の充実を図る。

指標

- ・平成31年度のチャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ・今年度末の生徒アンケートにおける「授業がよくわかる」と答える生徒の割合を80%以上にする。(前年度79%)
- ・英検IBAテストにおいて英検3級レベル以上の割合を大阪市平均よりも上回る。

**取組内容⑥【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】全学年
進路講話、職場体験、職業調べ等のキャリア教育を通じて、卒業後の進路を見つめ、将来の夢や目標について考えさせる。また、進路決定に向けた準備を進めるとともに、進路に対する意識を高める取組みをすすめる。**

指標

- ・将来の夢や目標について考えさせる取組みを年間1回以上実施する。
- ・今年度末の生徒アンケートにおける「将来の夢や目標がある」と答える生徒の割合を前年度以上にする。(前年度80%)

**取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】健康教育部、体育科
健康管理・体力づくりを意識させる取組を実施する。**

指標

実施後のアンケートに肯定的意見を50%以上にする

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立田島中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【その他】小中一貫した教育の推進</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 児童・生徒・教員の連携・交流を図る検討組織を活性化する。 ② 9年間の小中一貫した教育を3校教員で協働して取り組む。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】 9年間の教育課程の構築をめざし、教員の合同研修・合同会議を実施する。	
指標 年に3回以上実施する。	
取組内容②【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】 6年生の児童による中学校生活体験を実施する。	
指標 事後アンケートで肯定的回答を80%以上にする。	
取組内容③【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】 兼務発令を行い、小中一貫教育を進めていく。	
指標 英語科・美術科の中学校教員を校区小学校に兼務発令を行い、それぞれの教科を校区小学校に週1回ずつ授業を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

